

# 停電で給湯器、配管にトラブル

## 「お湯使えずつらい」

### 秋田市など影響長期化

7～8日に県内で発生した

大規模停電の影響で家庭用給湯器の故障や配管の凍結が相次ぎ、市民生活に大きな支障が出ている。殺到する修理依頼に業者やメーカーが対応しきれず、連日入浴施設に通う生活を余儀なくされる人も多い。市民からは「お湯が使えないのはつらい」「いつになつたら直るのか」といった声が上がっている。

秋田市御野場の40代男性宅では停電があった7日午後7時以降、自宅でお湯が使えなくなっている。空気中の熱を利用する給湯器「エコキュート」が故障。メーカーに修理を依頼したが、まだ連絡がな

いという。

男性は5人家族。2～9歳の子どもが3人おり、故障後は近くの実家の風呂や入浴施設を利用してしている。我慢してきたけど、もうそろそろ限界。さすがに耐えがたい」と男性。5人分の入浴料に加え、給湯器の修理代も見込まれ、一負担はかなり大きい」と話す。

秋田市桜の「桜温泉」には自宅の風呂を使えなくなった人が連日訪れ、利用者が普段の2倍近くになっている。13日に訪れた同市東通の女性(62)宅ではガス給湯器が故障し、約20万円の新品購入を決めた。だが業者への注文が殺到し、納入時期は未定だとい

う。

自宅では血洗いにも水しか使えず、スーパリーの弁当や給湯器を買って洗いを減らしている。「本当に不自由。いつまで続くのか」と話した。

同市東通の30代男性宅でも7日夜の停電直後からエコキュートのお湯が出なくなり、気温が上昇した12日午後には復旧。「また寒波がきたら同じような事態に陥るのかと考えると本当に怖い」と話した。

サービス(大阪)によると、

県内では12日までの5日間で約350件の修理依頼があった。宮城県内からも人員を派遣して家庭を回っているが、全ての依頼にこたえるめどは立っていないという。同社は「点検や修理に時間がかかり、利用者には申し訳ない。できるだけ早く解消できるように努めていきたい」としている。

住宅設備機器メーカーのコロナ(新潟)でも秋田市を中心に給湯器の修理依頼が相次ぎ、13日午前までに県内で約400件に上った。岩手、青森からも応援を呼んで対応しているといい、同社は「1月内に全て復旧できるように対応を急ぎたい」としている。



秋田市の桜温泉には夕方以降、自宅でお湯が使えない家族連れが次々と訪れた＝13日午後7時20分ごろ

# 県内大雪

エコキュートの保守点検を行うパナソニックLSテクノ

急ぎたい」としている。

藤桃子、高橋広幸